

道徳学習指導案

指導者

1 日時 年 月 日 () 〇〇 : 〇〇 ~ 〇〇 : 〇〇
 もしくは 第 校時

2 学級 第〇学年 〇組 (男子〇〇名 女子〇〇名)
 もしくは まとめて 〇〇名

3 場所 〇〇教室

4 主題名 * 内容項目は明確に

5 ねらい

6 資料 * 出典は明らかに

7 主題設定の理由

- 教材観・題材観
- 児童生徒観
- 資料観・指導観

8 学習指導過程

〈以下を参照〉

【評価】 * 評価の観点を示す

(教師のねらいのもと下記のいくつかを・・・)

道徳の時間は、各教科や特別活動、総合的な学習の時間における道徳教育と関連をもたせて行われる。しかも、一人一人の内面において道徳的価値の自覚を深める指導が行われる。したがって、道徳の時間だけで子どもたちの変容等を評価することは難しいことから、指導要録には欄が設けられていない。しかし、道徳の時間が指導されている以上、その趣旨を踏まえて独自の評価を行わなければならない。特に大切なものとして、大きく指導過程に関する評価と指導の諸方法に関する評価、それに子どもたちの実態把握がある。

○ 指導過程に関する評価の観点

- ・児童生徒の心の動きを十分に把握し、道徳的価値の自覚を深められるよう適切に構成されていたか。
- ・指導の手立ては適切であったか。
- ・発問は、意図に照らして的確になされていたか。
- ・児童生徒の一つ一つの発言に耳を傾け、その背後にある気持ちを受け止めようとしていたか。
- ・自らも心を開き、心の触れ合いのある授業になっていたか。
- ・特に配慮を要する児童生徒に適切に対応していたか。

○ 指導の諸方法に関する評価の観点

- ・ねらいを達成する上で適切な方法であったか。
- ・児童生徒の実態や発達段階にふさわしいものであったか。
- ・児童生徒一人一人が、問題意識をもって自発的に課題に取り組み、積極的に学習に参加するような配慮がなされていたか。
- ・児童生徒の内面により深く触れる方法が工夫されていたか。
- ・児童生徒は道徳の時間を楽しみにしていたか、学習活動に集中していたか、新たに学んだことや気付いたこと、これからしようと思うことなどが生まれてきたか、その時間の終わりを惜しむようであったかなどを把握する。そして、同様のことを教師が自分自身に問い掛けることによって、授業において児童生徒と共感し合えたかを自己評価することができる。

などの観点から評価する必要がある。

道徳の時間の学習指導過程の基本型

※「心のノート」は、中心資料ではない（道徳の時間の一部で活用）ことに留意する。

段階	児童生徒の学習活動	主な発問と予想される児童生徒の反応	指導上の留意点	評価の観点 (○教師、※児童生徒)
導入	<p>1 心の耕しと課題の設定</p> <p>○生活体験を想起し合い、本時の学習内容に気付く。</p> <p>*ねらいとする価値に気付く。</p>	<p>(1)これまでの体験で・・・したことはなかったか。</p> <p>○・・・・・・・・・・・・・・・・</p> <p>○・・・・・・・・・・・・・・・・</p> <p>○・・・・・・・・・・・・・・・・</p> <p>○・・・・・・・・・・・・・・・・</p> <p>○・・・・・・・・・・・・・・・・</p>	<p>○アンケート調査の結果等の資料を提示する。</p> <p>○資料に関する絵画や写真、VTRや小道具等を見せて視覚的に印象付ける。</p> <p>○録音テープや音楽CD等を使って聴覚的に印象付ける。</p> <p>○主題のねらいにかかわる新聞記事、児童生徒作文、詩や短歌などを活用する。</p> <p>○地域の人材を活用する。</p> <p>○実験や観察など実物に触れる体験などを取り入れる。</p> <p>○「心のノート」の活用（学習への問題づくり、方向付け）</p>	<p>○心を開くリラックスした雰囲気をつくられたか。</p> <p>※学習に向かう意欲は高められたか。</p> <p>※本時のねらいとする価値に関心を向けられたか。</p>
展開前	<p>2 価値観の類型化と葛藤討議</p> <p>○資料「<u> </u>」を視聴し、・・・(主人公)の気持ちを中心に話し合う。</p> <p>○・・・(主人公の行為)を客観的に見つめる。</p> <p>*資料活用によってねらいとする価値を追求・把握する。</p>	<p>(2)・・・(主人公)は、・・・(自分の行為)をどう考えたか。</p> <p>○・・・・・・・・・・・・・・・・</p> <p>○・・・・・・・・・・・・・・・・</p> <p>(3)・・・(主人公を取り巻く登場人物)は、・・・(主人公の行為)をどう思ったか。</p> <p>○・・・・・・・・・・・・・・・・</p> <p>○・・・・・・・・・・・・・・・・</p> <p>(4)・・・(主人公の行為)をどう考えるか。</p> <p>・・・(主人公)は、どうすべきだったか。</p> <p>○・・・・・・・・・・・・・・・・</p> <p>○・・・・・・・・・・・・・・・・</p> <p>○・・・・・・・・・・・・・・・・</p> <p>*児童生徒の実態と資料の特質を押さえた発問構成を工夫する。</p>	<p>○資料提示の工夫をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師の読み聞かせ ・児童生徒の朗読 ・スライド、OHPシート、VTR、CD-ROM等の活用 ・素材を録音による資料に構成して聞かせること ・繰り返し提示 ・部分提示 <p>○資料の内容を深く受け止めさせる。</p> <p>○児童生徒が生き生きと活動し、主体的に考えを深められるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動作化や役割演技の活用 ・「心のノート」の活用（話し合いの深化） 	<p>○指導の手だては適切であったか。（資料提示、板書の工夫、発問等）</p> <p>※（主人公の行為）を自分なりにとらえられたか。</p>
展開後	<p>3 価値の一般化</p> <p>○今までの自分を振り返る。</p> <p>*自分の生活を振り返り、現在の自分の価値観に気付く。</p>	<p>(5)今まで・・・したことはないか。</p> <p>○・・・・・・・・・・・・・・・・</p> <p>○・・・・・・・・・・・・・・・・</p> <p>*児童生徒が体験を通して感じたことや考えたこと、また日常の具体的な事柄を話題にするなど、資料に描かれた道徳的価値を自分の問題として受け止めて、深く自己を見つめることが可能になるよう、発問を工夫する。</p>	<p>○道徳的価値の内面的自覚を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二人一組の対話や小集団による話し合いの導入と座席の配置の工夫 ・自分の考えをまとめて書く活動の導入 ・「心のノート」の活用（振り返りの深化、交流） 	<p>○特に配慮を要する児童生徒に適切に対応していたか。</p> <p>※ねらいとのかかわりにおいて、これまでの自分の生活の中で振り返られたか。</p>
終末	<p>4 価値の整理</p> <p>*学習の整理・まとめをする。</p>	<p>(6)本時の学習で何を学んだか。</p> <p>*道徳性の高まりを確認する。</p> <p>*道徳ノートを確認する。</p>	<p>○児童生徒の感想を発表させたり、書く活動を取り入れる。</p> <p>○教師が説話をする。</p> <p>○補助的な資料を提示する。</p> <p>○各教科等との関連を図り、今後の発展につなぐ工夫をする。</p> <p>○「心のノート」の活用（内容の明確化と整理）</p>	<p>○指導の手だては適切であったか。（説話等）</p> <p>※本時のねらいにせまる道徳的実践力が高められたか。</p>